



「ご挨拶」

山口県警察本部 交通部長 竹林 昌範



犯罪や交通事故の被害者に寄り添った献身的な活動に御尽力頂いています山口被害者支援センターをはじめ、関係機関・団体の皆様方に対しまして、心から敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

平成30年中の県内の交通事故発生状況をみると、人身事故件数は4,010件と、19年連続で減少しており、死者数にあっては52人と統計の残る昭和26年以降で最少となっています。

しかしながら、これらの交通事故に遭われた被害者やその御家族の方々が、長期にわたって悩み苦しまれ、大きな経済的、精神的負担を余儀なくされている現実が存在し、求められる支援も多様化している中、被害者に寄り添う民間被害者支援団体の果たすべき役割は、益々大きくなっていることを強く認識しております。

山口県警察といたしましても、これまでも増して山口被害者支援センターをはじめとする関係機関・団体の皆様方との連携を密にし、各種施策を鋭意推進して参りますので、今後とも御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、山口被害者支援センターの益々の御発展と皆様の御健勝、御多幸を祈念いたしまして、御挨拶といたします。



「ご挨拶」

山口県環境生活部長 西田 秀行



山口被害者支援センター及び会員の皆様におかれましては、平素から犯罪被害者等に対する支援活動や県民への普及啓発に多大な御尽力をいただいております、心から敬意と感謝の意を表します。

さて、県内の刑法犯認知件数は減少傾向にあるものの、依然として、子どもや女性、高齢者が被害者となる犯罪が発生しており、被害に遭われた方やその御家族は、身体的、精神的な苦痛に悩み、更には経済的な負担も強いられています。

こうした中、山口被害者支援センターでは、被害に遭われた方等に寄り添った支援を行うとともに、命に関する講座や研修会の実施など社会全体で被害者支援の機運を醸成する活動に取り組んでおられ、その存在は心強く、期待される役割は非常に重要なものとなっています。

県においても、国の「第3次犯罪被害者等基本計画」に基づき、相談機能の充実強化や性暴力被害の総合的な支援システムの運用などの取組を進めており、今後も、被害に遭われた方等のニーズに応じた支援が図られるよう、山口被害者支援センターをはじめ関係機関等と、より一層連携を密にして取り組んでまいりますので、御理解と御協力をよろしくお願いします。

結びに、山口被害者支援センターの今後ますますの御発展と関係の皆様方の御健勝、御活躍を祈念いたしまして、御挨拶とさせていただきます。



山口被害者支援センターとは

山口被害者支援センターは、山口県公安委員会から「犯罪被害者等早期援助団体」の指定を受けた県内唯一の民間団体です。被害者やご遺族の同意に基づき、警察から情報提供を受けることで、早期に支援を行う事が可能となっています。



電話相談



面接相談



自助グループへの支援



被害者支援員の養成・研修



病院・警察・裁判所への付添



関係機関との連携



広報・啓発活動



平成30年度 支援状況のご報告



	相談内容	電話相談	電子メール	面接相談	直接支援	計
身体犯	殺人（傷害致死）	3 4	0	3	2 7	6 4
	強盗（致死傷）	0	0	0	0	0
	強制性交等	0	0	3	2	5
	強制わいせつ	5	0	0	5	1 0
	その他の性的被害	5	0	0	3	8
	暴行・傷害	2	0	0	0	2
	その他の身体犯	0	0	0	0	0
交通犯	危険運転致死傷	0	0	0	0	0
	交通死亡事故	2 3	0	2	6	3 1
	交通事故	2	0	0	0	2
DV		6	0	0	0	6
ストーカー		9	0	1	0	1 0
虐待		1	0	0	0	1
その他	死別・自殺	0	0	0	0	0
	災害被害	0	0	0	0	0
	その他	9 8	0	4	0	1 0 0
計		1 8 5	0	1 3	4 3	2 4 1

平成 30 年度 命の大切さを学ぶ教室 実施校

犯罪被害者のご遺族による講演を通じ、中高生を対象に「命の大切さを学ぶ教室」を開催しています。

講演を通じて、犯罪被害者等の気持ちを理解するだけでなく命の大切さ、家族への感謝の気持ち、自分は大切な存在であることを再認識する機会となっております。

平成 30 年度の実施校は以下のとおりです。



小野田工業高等学校

	学校名	聴講人数	講演種別
1	下関市立山の田中学校	480	いじめ
2	下関市立木屋川中学校	140	殺人事件
3	下関市立長府中学校	500	殺人事件
4	下関市立向洋中学校	170	いじめ
5	下関市立彦島中学校	480	殺人事件
6	下関市立玄洋中学校	190	いじめ
7	下関市立日新中学校	320	交通事故
8	下関市立豊洋中学校	170	交通事故
9	山口県立西市高等学校	220	殺人事件
10	山口県立小野田工業高等学校	400	交通事故
11	山口県立宇部工業高等学校定時制	41	交通事故
12	山口県立厚狭高等学校	400	デート DV
13	山口県立柳井高等学校	160	集団暴行殺人
14	萩光塩学院高等学校	39	交通事故
15	防府市立華西中学校	150	デート DV
16	山口県立山口高等学校徳佐分校	70	デート DV
17	山口県立岩国工業高等学校	350	殺人事件
18	防府市立野島小中学校	23	殺人事件
19	防府市立牟礼小学校	280	いじめ
合計		4,583 人	

平成 30 年度 命の講座 実施企業・団体

大学、職場、団体、グループ等を対象とした犯罪被害者支援に係る啓発や新たな支援の担い手の確保を図る為、「命の講座」を実施しております。

犯罪被害者のご遺族による講演を通じ、被害者等が抱える苦悩や思いについて理解を深めてもらい、被害者等を地域社会で支え、私達ができることは何かを考える機会となっております。交通安全週間などに毎年開催される企業もあります。

『社員の交通安全意識を高めたい』等とお考えの企業・団体の皆様、研修等でご依頼ください。

平成 30 年度の実施企業・団体は以下のとおりです。



宇部安全運転管理者協議会

	団体・企業名	聴講人数	講演種別
1	下松警察署	50	交通事故
2	「小さな親切」運動 小野田支部	50	殺人事件
3	JA あぶらんど萩 女性部	25	被害者支援
4	平生町「社会を明るくする運動」	70	被害者支援
5	しんしも道草サロン	25	被害者支援
6	山陽小野田市 市民生活課	170	殺人事件
7	宇部市人権教育	50	殺人事件
8	萩地区教職員人権研修	20	殺人事件
9	JA 美祢女性部	25	被害者支援
10	岡山県貨物運送	100	交通事故
11	宇部安全運転管理者協議会	100	交通事故
12	セントラル硝子（2回）	700	交通事故
13	宇部興産海運	70	殺人事件
14	山口刑務所	100	被害者支援
合計		1,555 人	

「命の大切さを学ぶ教室」 「命の講座」を開催しませんか？

会場準備や聴講者へのご案内については開催希望の学校、企業、団体様にお願いしますが、講演にかかる講師の手配や費用等については当センターで負担いたします。

実施についてのご依頼やご質問がある場合は、事務局までご連絡をお願いします。

事務局：083-976-5152



平成30年度 犯罪被害者週間行事 開催



犯罪被害者週間（11月25日～12月1日）にあわせ、平成30年11月25日（日）
美祢市民会館にて、犯罪被害者週間行事を開催しました。

- 第一部 主催者代表挨拶 理事長 鶴 義勝
共催者代表挨拶 美祢市長 西岡 晃
命の大切さを学ぶ教室作文コンクール表彰・支援自動販売機協力団体感謝状贈呈
- 第二部 講 演 加藤 裕司氏（殺人事件被害者ご遺族）
アトラクション 原田侑子さんライブ・県警音楽隊演奏

主 催 者 代 表 挨 拶 ・ 共 催 者 代 表 挨 拶



山口被害者支援センター 理事長 挨拶



美祢市長 挨拶

「命の大切さを学ぶ教室」作文コンクール表彰・感謝状



「命の大切さを学ぶ教室」 作文コンクール
優秀作品表彰 柳井商工高等学校
廣戸 渚咲さん



支援自動販売機協力団体 感謝状贈呈
社会福祉法人 山陽福祉会（山陽小野田市）

 犯罪被害者遺族 基調講演

講師の加藤裕司さんは、岡山県岡山市在住。

2011年9月、加藤さんの長女 みささん（当時27歳）は元同僚の男に殺害されました。加害者は裁判員裁判で死刑判決が言い渡され、死刑が確定（17年7月執行）しました。

事件で最愛の娘を奪われた加藤さんは、行方不明から遺体との対面、被害者参加制度を利用した裁判員裁判、

死刑判決から刑の執行に至るまでのご自身の体験や心情、

そして同じ境遇の犯罪被害者を支える活動に取り組む現在のお気持ちまで、在りし日のみささんの写真や事件を伝える新聞記事の画像とともに話されました。

最後に「犯罪被害者の権利を確立させるだけでなく、犯罪を生み出さない社会の実現を目指して頑張っていきたい。残された人生をかけて犯罪を生まない社会づくりに取り組みたい」と固い決意を示されました。講演を通して愛娘と共にあすを生きようとする父親の毅然とした姿が聴衆の胸に迫り、深い感銘を与えました。



加藤 裕司氏 「あすを生きる」

聴講された方々の感想

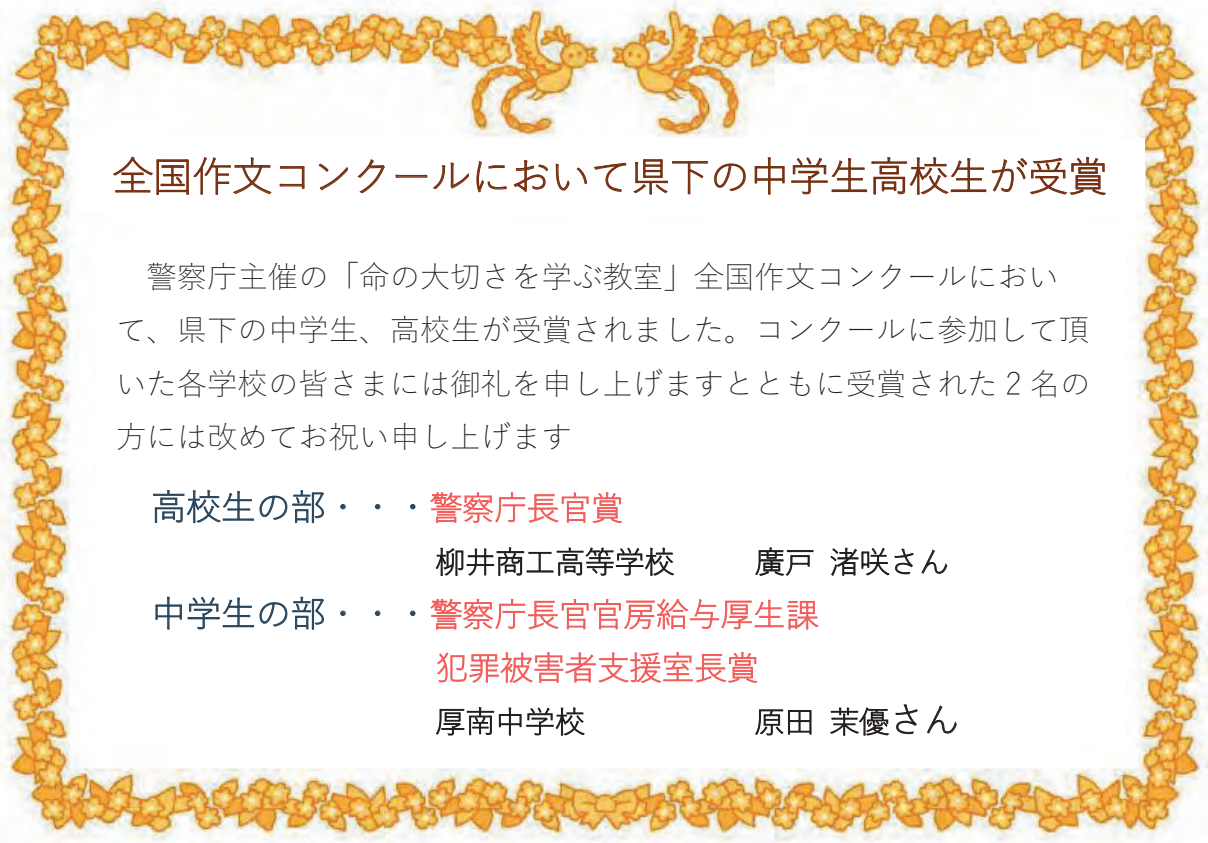
- 娘さんの気持ちを考えると親として何も出来なかった悔しさや、死刑になったからよかっただけではない気持ち、むしろどうしたら犯罪がなくなるかどうしたらよいかを考えさせられる講演だった。色々な人に聞いてほしい。
- 事件のあまりにもひどい状況にただただ言葉にならない衝撃を受けました。最愛の娘さんの無念を少しでもはらす為、お父様が全身全霊で頑張ってくれたことが伝わる講演でした。娘さんは、天国で深い愛情を感じておられることと思います。ご家族の悲しみは癒えることはないと思いますが、心から娘さんのご冥福をお祈りいたします。そしてご家族の心が少しでも安らかになれる時が来ることを願っています。

 ライブ・県警音楽隊演奏

原田 侑子さん ライブ



山口県警察音楽隊 演奏



全国作文コンクールにおいて県下の中学生高校生が受賞

警察庁主催の「命の大切さを学ぶ教室」全国作文コンクールにおいて、県下の中学生、高校生が受賞されました。コンクールに参加して頂いた各学校の皆さまには御礼を申し上げますとともに受賞された2名の方には改めてお祝い申し上げます

高校生の部・・・警察庁長官賞

柳井商工高等学校 廣戸 渚咲さん

中学生の部・・・警察庁長官官房給与厚生課

犯罪被害者支援室長賞

厚南中学校 原田 茉優さん

警察庁長官賞

「いのちを考えるとき」山口県立柳井商工高等学校 廣戸 渚咲さん

日々過ぎていく時間を特に意識することなく、私は毎日過ごしています。学校に行き、授業を受け、部活をし、普通に流れていく時間は当たり前のようにあるものだと思っていました。そんな時、私はある講演を聴く機会をいただきました。そこでのお話は、自分の体験と重なるところもあり、大切なことに気づくきっかけとなったのです。

講演の演題は「戻らない過去、消えない心の傷」で、講師は木村緑さんという女性でした。ある日突然交通事故で我が子を失うというつらい体験をお話しされ、私は胸がしめつけられるほどの思いになりました。未だにやりきれない悲しみや苦しみを抱えながらも生かされている自分の命を大切に、前向きに生きようとされている木村さんの姿は、私にいろいろなことを教えてくださいました。自分にとってかけがえのない大切な存在がこの世からいなくなるということ、この辛さは当事者にしかわからないと思います。

私の家族は、両親と兄と私の四人家族でした。幼い頃から私が父が大好きで、父と二人きりで外出することも多くありました。私が小学四年の時、父は体調が悪くなり入退院を繰り返すようになりました。詳しいことは聞かされておらず、事情がわからない中で、時間は流れていきましたが、お見舞いに行くたびにみるみる痩せていく父の姿を目の当たりにして、とても辛かったのを覚えています。母は病院と仕事場と家との行き来で忙しそうに疲れているようにも見えました。いつまでこんな生活が続くのだろうと不安な気持ちでいっぱいでした。日に日に弱っていく父と、ある日話をしていると、父は私にこんな言葉を言いました。

「俺も頑張るから、お前も頑張れよ。」突然のことだったので返事に困りましたが、病に立

ち向かい、痛みや苦しみと闘いながらも掛けてくれたこの言葉は、私の心に深く残っています。今思えば、自分のことで精一杯な状態なのに、これから先の私のことを心配し、いつまでも見守っているからねという温かいエールだったのでしょ。

一年近くに及ぶ闘病の末、父は静かに息を引き取りました。膵臓がんでした。体調がすぐれず、病院に行った時にはもう手術が出来ない状態で、余命を医師から告げられたそうです。父の死に立ち会ったとき、私は一生分の涙を流したと思います。

父が亡くなって私は学校をしばらく休みました。深い悲しみで気持ちの整理がつかず、学校に行くことが出来なかったからです。でも、そんな時、私を救ってくれた存在がありました。毎日手紙を書いて家のポストに入れてくれた友達です。手紙を読んで少しずつ元気が出て、また元の生活に戻ることができたのです。一週間ぶりに学校に行くと、たくさんの友達や先生方が「おかえり」と言って温かく迎えてくれました。その言葉に励まされ久しぶりに笑顔になれた自分がいました。

父が亡くなってから五年が経ちますが、最近ふと父との会話を思い出します。もう二度と会って話ができないという現実を受け入れるのはとても辛いですが、それでも残された家族は前を向いて今を生きていかなければなりません。

私は今、一日一日がとても充実しています。来年は最上級生になり、高校卒業後は地元就職したいと考えています。そして、これまで、支えてくれた家族や周りの人たちに何かの形で恩返しできればと思っています。いつもの日常がそこにあり、何事もなく時間が流れていくこと、それは決して当たり前のことではなく、とても幸せなことです。感謝の気持ちを持ち、生かされたこの命を大切に、一日一日をしっかりと生きていきたいと思っています。

警察庁長官官房給与厚生課犯罪被害者支援室長賞

「うまれてきてくれてありがとう」 宇部市立厚南中学校 原田 茉優さん

私はよく、家族や親戚と喧嘩します。それが嫌で親戚の家を訪ねるのが億劫になっていた時期もあったほどです。だから、私は「理解し合えない。」と思いこみ、一緒に過ごす時間を大切にしていまませんでした。

そんな私に、転機が訪れました。昨年、人権の授業の一環として聞いた、子を殺人事件で亡くされた、中谷さんのお話です。

はじめは、「死」や「命」というものがよく理解できないまま聞いていました。「殺人事件はテレビの中の話だと思っていた。」これは、中谷さんの言葉であり、また、私が思っていたことでした。ですから、私ははっとしてしまい、それからは「死や命」を少し、理解して聞けました。お話は娘さんの紹介から始まり、事件の日の朝のこと、思い出だけで悲しく、辛い事件のこと、その後、失われた家族の笑顔のこと、と続けました。

どのお話も辛いことを受けとめる強さと、その裏にかくれている傷の深さ、そして中谷さんの思いやりにあふれていて、私の心に響きました。

特に、お話の最後のメッセージ「みなさんうまれてきてくれてありがとう」は、今でも心に残っています。その時、私の家族や親戚の顔がふと浮かんだからです。もしかすると、私もそう思ってもらえているのかも・・・。

また、中谷さんのお話の中に、「命は限りある」という言葉がありました。その限りある大切な時間では、多くの感情が交錯していると感じます。

友達と一緒に遊ぶ楽しさ、試合に負けた悔しさ、新たなことに挑戦するときの緊張、そして喧嘩したときの憤りや孤独感、仲直りできたときの安心感……。中谷さんのお話を聞いていると、この「あたりまえ」の感情が練り上げられて、幸せがつくられるという気がしてきたのです。つまり、幸せを守るためには、「あたりまえ」の感情を守らなければなりませんし、感情は人との関わりの中でうまれますから、周りの人を大切にしなければなりません。

限りある命、限りある時間で周りの人に気持ちを伝えることは難しいです。しかし、伝えなければならないことも確かです。だから私は、私が言われて嬉しかったあの言葉を、命の大切さに気づかされたあの言葉を、多くの人に伝えたいと思います。

お母さん、うまれてきてくれてありがとう。お父さん、うまれてきてくれてありがとう。おじいちゃん、おばあちゃん、ひいおじいちゃん、ひいおばあちゃん、おじちゃん、おばちゃん、私の友達、ペット、うまれてきてくれてありがとう。誰よりも私のことを理解してくれる私自身にも、うまれてきてくれてありがとう。そして、今を生きている全ての人に、うまれてきてくれてありがとう。

感謝状贈呈

支援自動販売機を5年間に渡り設置して頂き、継続的な財政支援をして頂いた企業・団体に対し、犯罪被害者週間行事において当センターから感謝状を贈呈いたしました

- 社会福祉法人 山陽福祉会 様（山陽小野田市）
- 日本製紙株式会社 岩国工場 様（岩国市）



日本製紙株式会社 岩国工場

中国・四国ブロック質の向上研修会（下半期）への参加

平成 31 年 1 月 26 日・27 日の 2 日間、徳島市シビックセンターにおいて、「中国・四国ブロック質の向上研修下半期研修会」にセンターから職員 4 名が参加いたしました。

今回の研修には、9 支援センターの相談員が出席し、支援に関連する法律、制度、事例検討会の進め方・人材育成についてなど事例を通して学びました。

1 日目の意見交換会では、他センターの方との交流も深めることができ、大変実りのある研修となりました。



徳島市シビックセンター

シンポジウム 「犯罪被害がのぞむ支援をどの地域でも」への参加

平成 31 年 2 月 1 日、広島市で「犯罪被害がのぞむ支援をどの地域でも」と題し、シンポジウムが広島弁護士会館で行われました。

被害者遺族らが自身の体験を語られ、「いつ誰が犯罪被害者になるかわからない。条例制定は生活支援に不可欠」と訴えられました。センターからは、理事長他、センター職員 4 名が参加しました。



広島弁護士会館

ステップアップ研修（継続研修）の実施

山口被害者支援センターでは、被害者支援員養成講座（毎年 5 月～8 月にかけて実施）が修了された方に対し、知識や技量を高めるために毎月一回、ステップアップ研修を行い、より実践的な知識とスキルを習得できるよう努めています。

センターでのステップアップ研修だけでなく、全国犯罪被害者支援ネットワーク主催の中国・四国ブロック研修会、全国秋期研修会、その他各関係機関主催の研修会に参加して頂く予定です。



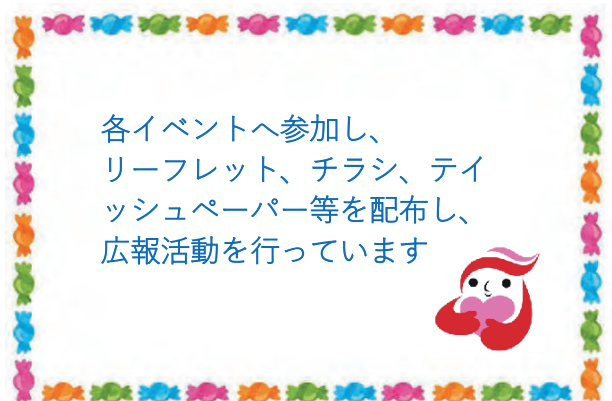
広報・啓発活動



11/18 犯罪被害者週間行事 事前広報
JA 美祢農業まつり



11/18 犯罪被害者週間行事 事前広報
エフエム山口 ラジオ出演



2/20 下松サービスエリア（下り）

2/22 下関王司サービスエリア（上り・下り）

高速道路安全協会・NEXCO 西日本・山口県警察高速道路警察隊と協働広報

私は、犯罪被害者等支援シンボルマーク

「ギュっとちゃん」です。





ワンクリック募金改め、おいでませ募金バナー広告の 企業様を募集しています

山口被害者支援センターでは、協賛しバナー広告を出していただく企業様を募集しております

おいでませ募金とは・・・

山口被害者支援センターの HP にバナー広告を掲載して頂き、
クリック数に応じ山口被害者支援センターに寄附する仕組みです。
山口被害者支援センターの HP に閲覧者が貴社・貴団体のバナー広告を
1回クリックするごとに10円をセンターに寄附して頂くものです

寄附金について・・・

1か月あたり3千円が上限で、1年間の合計額をお振込み頂きます。
公益社団法人である当センターへの寄附金や会費は優遇税制が適用されます



～多くのご支援・ご協力ありがとうございます～

～犯罪の被害に遭われた方の為にできることがあります～

ホンデリング



ホンデリングとは・・・読み終えた本を買い取り業者に送って頂くことにより、査定額をご寄附頂くものです

申し込みはたったの **3** ステップ

- ① 申込用紙（当センターホームページからも印刷できます）
をつけて5冊以上の古本を段ボール箱に詰める
- ② ㈱バリューブックス **0120-826-295** に電話
「ホンデリングに申込みたいのですが」
- ③ 宅配業者がご指定の日時に集荷にお伺いします

・発送費用は、**不要** です（着払い）

・申込用紙はセンターのHPからダウンロードできます

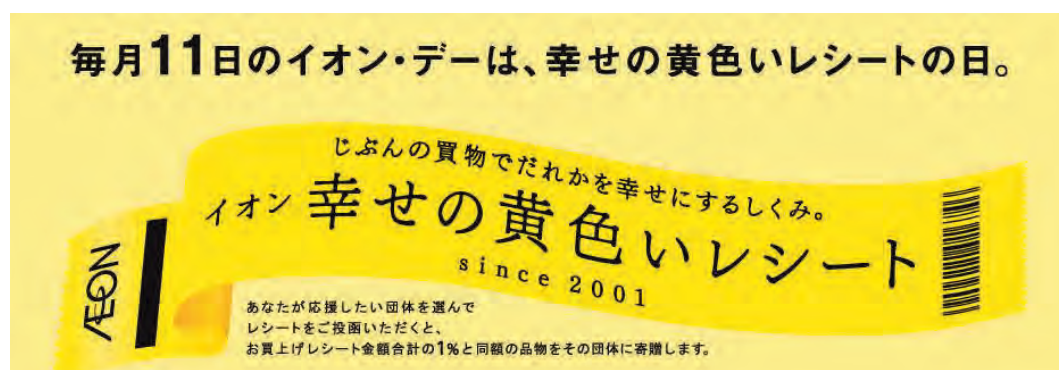
詳しくは、事務局までお問合せください。TEL：083-976-5152 FAX：083-976-5145



幸せの黄色いレシート



毎月**11日**お店に各ボランティア団体の名前と活動内容が書かれた投函箱が設置され、応援したい団体の箱に黄色いレシートを入れると「レシート**金額の1%**」をその団体に寄附できるというキャンペーンです。当センターも投函箱を**イオンタウン防府**に設置頂いております。
ぜひご協力をお願い致します。



心で寄り添い、社会で支える。

公開講座

広げよう!! 被害者支援の輪

申込み不要
入場無料



講師：山口 由美子氏（西鉄高速バスジャック事件被害者）

演題：「少年事件の被害者になって、考えたこと」

— 西鉄高速バスジャック事件から —

1949年佐賀市生まれ。2男1女の母。2015年九州大学統合新領域学府修了。
2000年5月「西鉄高速バスジャック事件」に遭遇し、犯人の少年から全身10カ所以上切りつけられ重傷を負う。2002年4月不登校だった犯人のような少年を生まない為に、不登校やひきこもりで悩む親の会や子供たちの居場所を仲間と共に開設。佐賀少年刑務所に入所時初期教育の一環として毎月講話。

2019.5.19 [日] 13:30~15:00
●開場13:00

会場 **山口グランドホテル** 無料駐車場 130台
山口市小郡黄金町1-1 TEL:083-972-7777

被害者支援員 養成講座の受講生を募集

山口被害者支援センターでは、電話・面接相談への対応補助のほか、相談内容に応じて病院、裁判所、行政機関への付添い等を行って頂ける支援員の方を募集します

被害者支援員になるためには、被害者支援員養成講座の受講が必要です

本年度も被害者支援員養成講座を 5/19（日）～ 8/7（水）まで全10回の予定で開催致します（5/19（日）の公開講座は入門講座の第1回目となります）

応募資格

- 25歳から65歳くらいまで（学生の方はご相談ください）
- 心身共に健康で、守秘義務を遵守でき、やる気のある方
- 被害者支援員養成講座終了後、ボランティアとして月1回以上の電話相談や、広報活動（資格や経験は必要なし）に参加できる方

講座の内容、申込、詳細につきましては、ホームページ、または事務局までお問合せください。 TEL：083-976-5152 FAX：083-976-5145



平成 30 年度 新規設置支援自動販売機ご協力の御礼

山口被害者支援センターは、犯罪被害者等の支援活動を行う財源となる支援自動販売機設置のご協力をお願いしております。

平成 30 年度に新たに設置して頂き、売上金をご寄附頂いている企業・団体に対し所轄警察署長同席のもと当センター理事長から感謝の気持ちを込め感謝状を贈呈いたしました。

支援自動販売機とは・・・

支援自動販売機は、「募金箱」の考えのもと、広く一般市民へ募金を呼びかける自動販売機です。

この自動販売機で清涼飲料水を購入すると、売上の一部が「山口被害者支援センターへの募金」となり、活動を支える資金として寄附されます



10/4 株式会社ニシエフ 様 2 台設置
《小串警察署管内》



10/4 ホテル西長門リゾート 様
《小串警察署管内》



10/16 中央交通株式会社 様
《宇部警察署管内》



10/24JA 山口厚生連
周東総合病院 様
《柳井警察署管内》



10/29 田中自動車株式会社 様
《防府警察署管内》



10/29 山口県高等自動車学校 様
《防府警察署管内》



11/5 JA 共済連山口 様
JA 山口中央会 様
《山口南警察署管内》



11/6 山口県トラック協会 様
《山口警察署管内》



11/7 鋼鉄工業株式会社 様 2 台設置
《下松警察署管内》



11/7 JA 周南 様 2 台設置
《下松警察署管内》



11/15 JA あぶらんど萩 様 3 台設置
《萩警察署管内》



11/15 JA 山口厚生連
長門総合病院 様
《長門警察署管内》



2/27 プリチストン下関工場 様 3 台設置
《長府警察署管内》



3/5 JA 長門大津(A コープ店) 様
《長門警察署管内》



感謝状贈呈についての記事は、読売新聞、山口新聞、宇部日報、柳井日日新聞、防府日報、日刊新南陽・長門時事新聞（順不同）で掲載されました



支援自動販売機の設置は、3 月末現在で
県内 155 台となりました
ご協力頂きました皆様には厚くお礼申し上げます





支援自動販売機 設置場所（地区別）



50 音順 敬称略

岩国地区		
岩国自動車学校	岩国中央病院	帝人(株)
共進(株)	東洋紡(株)	日本製紙(株)岩国工場
(株)フジ フジグラン岩国	(株)フジ フジグラン南岩国	美津濃(株)岩国運動公園
美津濃(株)玖珂総合公園	みどり病院	山口トヨタ自動車(株)岩国店
山口トヨタ自動車(株)南岩国店		
柳井地区		
光輝病院	周東総合病院	柳井病院
山口トヨタ自動車(株)柳井店	山口フラワーランド	
光地区		
新日鐵住金(株)	光自動車学校	山口トヨタ自動車(株)光店
下松地区		
下松市役所睦会	下松中央公民館	鋼鉄工業株式会社
周南農業協同組合下松支所	(株)新笠戸ドック	東洋鋼鉄(株)下松事業所
(株)日立製作所笠戸事業所	山口トヨタ自動車(株)周南店	
周南地区		
(株)グットライアンス	周南カントリー倶楽部	周南システム産業(株)サンライフ周南
周南農業協同組合熊毛支所	周防カントリークラブ	東ソー生活協同組合
徳山動物園	中須ゴルフ倶楽部	ボートレース徳山
防府地区		
田中自動車(株)	日本通運(株)防府支店	(株)プリヂストン防府工場
マツダロジスティクス(株)防府事業所	山口県高等自動車学校	山口短期大学
山口地区		
(株)OBM	須恵の郷	積水ハウス(株)山口工場
生活協同組合コープやまぐちいすみ店	山口県トラック協会	山口市仁保斎場
山口トヨタ自動車(株)山口店	山口トヨタ自動車(株)山口東店	山口被害者支援センター
阿知須共立病院	阿知須同仁病院	侑いしだクリーニング
生活協同組合コープやまぐち本部	生活協同組合コープやまぐち小郡店	全国共済農業協同組合連合会
田中慶應進学塾	東洋ヒューム管(株)	山口県農業協同組合中央会
山口市嘉川斎場	山口トヨタ自動車(株)本社	
宇部地区		
宇部記念病院	宇部興産(株)	宇部マテリアルズ(株)
三和企業(株)西日本自動車学校	中央交通(株)	



山陽小野田地区		
厚狭ゴルフ倶楽部	サンライフ山陽	長州産業(株)
山口トヨタ自動車(株)小野田店		
美祢地区		
セントラルパークゴルフ倶楽部	道の駅おふく	レークスワンカントリー倶楽部
山口トヨタ自動車(株)美祢店		
下関地区		
東亜大学	西山青果(株)	(株)ハートフーズ21
早稲自動車学校	山口トヨタ自動車(株)下関店	山口トヨタ自動車(株)下関北店
住吉工業(株)	(株)長府製作所	ふくーる下関
(株)ブリヂストン下関工場	山口トヨタ自動車(株)小月店	
小串地区		
しおかぜの里角島直売所	(株)ニシエフ	ホテル西長門リゾート
道の駅北浦街道豊北		
長門地区		
深川養鶏農業協同組合	フジミツ(株)三隅工場	長門総合病院
山口トヨタ自動車(株)長門店		
萩地区		
あぶらんど萩	農産物加工販売所つつじ	ふれあいらんど萩
道の駅阿武町	道の駅萩シーマート	山本内科胃腸科
山口トヨタ自動車(株)萩店		
新規取付先（平成30年10月～平成31年3月末）		
(株)エクシス	(株)A コープ長門	(株)ブリヂストン下関工場

山口県警察関係 支援自動販売機 設置先



山口県警察本部	総合交通センター	交通機動隊	岩国警察署	柳井警察署
平生幹部交番	光警察署	下松警察署	周南警察署	防府警察署
山口警察署	山口南警察署	宇部警察署	山陽小野田警察署	厚狭幹部交番
小串警察署	美祢警察署	長門警察署	萩警察署	下関警察署
彦島幹部交番	長府警察署	豊田幹部交番		

ご寄附を頂きありがとうございました
(平成30年10月～平成31年3月まで)

※敬称略（掲載を承諾された方のみ）



佐々木 和子	宇部安全運転管理者協議会
末永 公子	白木 伸子
岡山県貨物運送(株)	原川 武
田中 陽	井上 稔
山口警察署	山口県遊技業協同組合

山口県遊技業協同組合 様

山口警察署 様

50 音順 敬称略（掲載を承諾された方のみ）

団体賛助会員			
岩国安全運転管理者協議会	岩国交通安全協会	宇部中央自動車学校	(株)梅崎組
青海博文税理士事務所	(有)片山組	唐戸市場業者連合協同組合	(株)グットライアンス
小串交通安全協会	(株)こすもす開発	山九ハイウェイセンター	山陽小野田交通安全協会
下関交通安全協会	周南農協観光開発(株)	(株)ジャネックス	周南近鉄タクシー(株)
末永法律事務所	セントラル硝子(株)	全国共済農業協同組合連合会	全国農業協同組合連合会
(有)創栄技建	(株)たいよう共済山口支店	長府警察署	(有)ドリームプラン
ホテル西長門リゾート	日本交通産業(株)	日本自動車販売協会連合会	(有)久富工務店
福永商事(株)	ベル商事(株)	防府とくち農業協同組合	マルミ自動車(有)
柳井交通安全協会	(株)山口グランドホテル	山口県経営者協会	山口県警察官友の会
山口県警察本部警察県民課	山口県警察本部警備部機動隊	山口県厚生農業協同組合連合会	山口県交通安全協会
山口県公認心理師協会	山口県自家用自動車協会	山口県自動車振興センター	山口県自動車整備振興会
山口県周南自動車学校	山口県商工会連合会	山口県信用農業協同組合連合会	山口県損害保険代理業協会
山口県タクシー協会	山口県農協印刷	山口県農業協同組合中央会	山口県バス協会
山口県レンタカー協会	湯野温泉病院	(株)ヨシイ・デザインワークス	

団体賛助会員（平成30年10月～平成31年3月末）			
いちょうの木クリニック	(有)崎村総合保険事務所	中央交通(株)	長門山電タクシー(有)
長門自動車工業(株)	南陽自動車学校	光中央病院	富士高圧フレキシブルホース(株)
日通下関運輸(株)	日本通運(株)下関支店	柳井自動車学校	山口県軽自動車協会
山口県トラック協会	美祢警備保障(株)		

※敬称略（掲載を承諾された方のみ）

個人賛助会員			
大庭 逸生	大庭 智子	岡村 悟司	糺 幸子
齋藤 隆弘	齋藤 慎子	佐々木 和子	水津 俊男
田上 愛子	塚原 猛雄	塚原 正好	戸田 憲幸
長尾 正則	長沼 博文	中野 進	西田 隆男
西村 圭介	西村 新市	西村 博子	西村 真知子
増山 大輔	安田 謙吾		

個人賛助会員（平成30年10月～平成31年3月末）			
菅原 俊彦	徳永 侃	橋本 求	原川 武
村岡 次夫			

名簿に記載漏れ、誤字、脱字等の不備がございましたらご連絡ください



当センターの活動は皆様方の温かいご支援により運営をしております
多くのご支援・ご協力に感謝いたします



犯罪被害にあわれた方に、途切れのない支援を

被害にあわれた方だけでなくそのご家族も被害者です。5年後も、10年後もその傷が癒えることはありません。今、被害者一人ひとりに寄り添った「途切れのない支援」が求められています。

賛助会員とは・・・

当センターの目的に賛同し、事業を財政面で支援する個人、又は、法人団体のことです。

個人賛助会員	一口 2,000 円 / 年
団体賛助会員	一口 10,000 円 / 年
振込先	山口銀行 小郡支店
預金科目・口座番号	普通預金 6459961
口座名義	公益社団法人山口被害者支援センター



●当センターへの会費や寄附金等には、税制上の優遇措置があります。

詳しくは、国税庁のホームページまたは、最寄りの税務署にお問合せください。

～支援の輪を広げる為に皆様の温かいご支援・ご協力をお願い致します～

話せなかった想い、電話で相談してみませんか

犯罪被害者等電話相談 全国共通ナビダイヤル

なやみはーここよ
0570-783-554

朝7:30～夜10:00まで年末年始を除く毎日、電話相談を受け付けます
相談者の市外局番で判断し、地元の支援センターの勤務時間内は自動的に地元センターへ、
それ以外の時間は東京のサポートセンターにつながります



山口県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体

ハートラインやまぐち

公益社団法人 山口被害者支援センター

〒754-0031 山口市小郡新町1丁目15-1
TEL 083-976-5152 FAX 083-976-5145
HP <http://www.vs-yamaguchi.net>

山口被害者支援センター

検索



ハートラインやまぐち
YVSC
Yamaguchi Victim Support Center

